

附 帯 決 議

平成28年度予算審議において、議会として真剣に審査し、市民のための事業、施策が予算計画のもと確実に執行されることを信じて可決したのであるが、今決算認定の審査において市民協働を理由にした事業の先延ばしや方針転換、決算特別委員会での質問に対する答弁の明らかな準備不足等、議会軽視と言わざるを得ない。このようなことでは、長久手市政は市民の信頼を得ることができない。よって市議会として以下のことを要求する。

- 1 平成30年度予算の編成はより慎重に行なうこと。
- 2 平成29年度予算の執行状況を今一度精査すること。
- 3 承認した予算に変更がある場合、速やかに議会に報告すること。

長久手市議会